

「地方創生」加速！ 徳島発“新たな処方箋”

～「vs東京」で挑む！ 地方創生戦略～

徳島は宣言する
VS東京

徳 島 県

1 “課題解決先進県・徳島モデル”を創造！

日本全体における
喫緊の課題

人口減少の克服

東京一極集中の是正

「地方創生」の先導役

地方創生の旗手！

「知恵は地方にあり！」
を先駆的に実施

“徳島ならではの”強みを“新たな処方箋”に！

全国屈指の
ブロードバンド環境

課題解決先進県・徳島モデル

豊富な森林資源

サテライト・オフィス

LED

LEDバレイ構想

次世代林業プロジェクト



“徳島ならではの”強みに磨きをかけ、“地方創生の旗手”として全国に発信中！！

2 徳島県における人口の将来展望

とくしま人口ビジョン

現状分析

- ◆ 1999年以降、連続で人口減少
現在は「約76万人」
- ◆ 合計特殊出生率は回復傾向にあるものの2014年（概数）で「1.46」、自然減が継続中
- ◆ 社会減は縮小傾向にあるものの継続中
- ◆ 国立社会保障・人口問題研究所の推計による本県の2060年の人口は「約42万人」

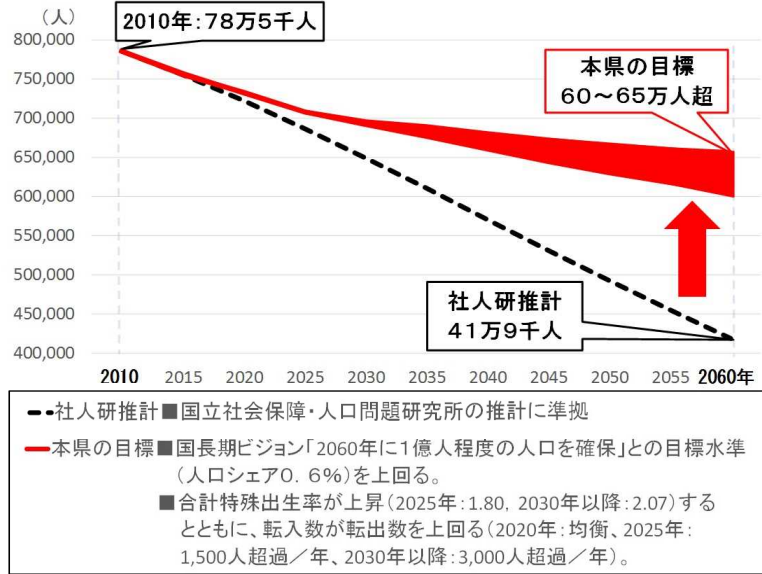
将来展望

- 【自然動態】合計特殊出生率の上昇
2025年：1.80へ
2030年：2.07へ
- 【社会動態】転出超過を解消
2020年：転入・転出を均衡
2025年以降、転入超過を目指す

**2060年に
「60～65万人超」
の確保を目指す！**

「RESAS（リーサス）」活用を通じて展望

徳島県人口の将来展望



「vs東京」「とくしま回帰」総合戦略」を推進エンジンに
“地方創生”を実現！！

3 「新未来とくしま」創造に向けた新次元の取組み

vs東京「とくしま回帰」総合戦略[2015～2019]

128のKPIを設定

1 ひと

目標

- 転入・転出者数：現状1,723人の転出超過 ⇒ 均衡へ(2020年)



サテライトオフィスのさらなる展開

2 ごと

目標

- 雇用創出数：5年間で4,000人



6次産業化ビジネスモデルの構築

3 子育て

目標

- 希望出生率(1.8)を叶える(2025年)



テレワーク導入による新たな働き方「徳島モデル」を創出

4 まち

目標

- 徳島版地方創生特区：5年間で10区



「未来エネルギー」への挑戦

好循環

人口減少の克服！

東京一極集中是正！

「新未来とくしま」の創造

「産学官金労言」の代表者
地域・住民の代表者で構成

「地方創生“拳県一致”協議会」を核に戦略を強力に推進！！

【基本目標1】 新しい人の流れづくり①

ひと

共通コンセプト「vs東京」のもと、
各世代にわたる東京からの移住をはじめ、
大都市圏からの「新しい人の流れ」を生み出す
「とくしま回帰」を推進する！

目標

2020年までに、転入・転出者数を均衡（社会増減0へ）
（2015.4.1現在で転出者が転入者を1,723人上回っている。）

●主な施策【重要業績評価指標（KPI）】

（ア）住みたい・働きたい「とくしま回帰」の加速

➢ 移住交流の推進

- 移住相談やしごと情報の提供を
ワンストップで行う
「移住コンシェルジュ」を配置（H27.8.3）
【移住者数：H25・80人 → H31・850人】



➢ 農林水産業にチャレンジする新規就業者の拡大

- 農業系大学生を対象に
本県のフィールドを活用したインターンシップを展開
【農業系大学生によるインターンシップ参加者数（5年の累計）：
H25・106人 → H31・650人】

【基本目標1】 新しい人の流れづくり②

（イ）「とくしま回帰」を呼び込む拠点機能の強化

➢ 企業の本社機能の誘致

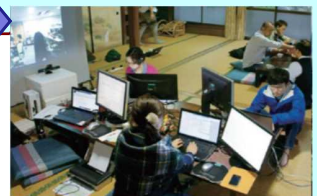
- 企業の本社機能移転を促すため、企業立地補助制度を拡充
【「成長分野」関連企業の本社機能誘致数：H25・(-) → H31・5社】

➢ 政府関係機関の地方移転に挑戦

- 本県の強みを発揮できる分野を念頭に置き、地方創生に資する機関の誘致に挑戦
【政府関係機関の本県への誘致：H27提案】

➢ サテライトオフィスのさらなる展開

- サテライトオフィス進出企業へのきめ細やかな支援と
新たな誘致に向けた施策を積極的に展開
【サテライトオフィス進出地域の拡大：
H25・4市町 → H31・8市町村】



（ウ）若者の「とくしま回帰」を生み出す大学等の活性化

➢ 大学と地域の連携による「知のフィールド」の拡大

- 大学サテライトオフィスにより地域の課題解決や活性化を促進
【大学サテライトオフィス設置箇所数：H25・3箇所 → H31・12箇所】

➢ 若者の地元定着促進

- 経済団体等と連携し、県内企業に一定期間就業した際に、奨学金の返還を支援
【県内大学生等の県内就職率：H25・44.5% → H31・50.0%以上】

【基本目標2】 地域における仕事づくり①

しごと

本県の強みを活かした「産業競争力の強化」により、徳島に集う「ひと」が、魅力ある安定した「しごと」を創り出す「好循環」を加速する！

目標

総合戦略による雇用創出数 5年間で4,000人

●主な施策【重要業績評価指標（KPI）】

（ア）地域産業の未来に向けた競争力の強化

➢ 「2つの光+α」がリードする地域イノベーションの加速

- 「LED」と「光ブロードバンド環境」を活用した成長分野関連産業の集積をより一層図るとともに、全国初の「4Kアワード」を開催（H27）

【■クリエイティブ関連企業数：H25・161社（者）→ H31・260社（者）】



➢ 企業の成長ステージに応じた切れ目のない支援

- グローバル商品の開発や海外市場での販売促進等、県内企業のグローバル展開を支援

【■輸出額・輸出企業数：H25・150億円・95社 → H31・175億円・133社】

➢ もうかる農林水産業の推進

- 平成28年4月に創設される徳島大学「生物資源産業学部（仮称）」との連携による「アグリサイエンスゾーン」を構築

【■新技術開発に向けた県内大学等との共同研究数：H25・2件 → H31・10件】

【基本目標2】 地域における仕事づくり②

（イ）戦略的な観光誘客の推進

➢ 「訪日外国人2000万人時代」に向けた取り組み

- 国内外からの観光誘客を図るため、Wi-Fi環境や多言語表記の整備、通訳人材の育成、「外国語サポートデスク」の設置を推進

【■年間の延べ宿泊者数：H25・226万人 → H31・310万人

■外国人延べ宿泊者数：H25・3.2万人 → H31・9万人】

➢ 「ひと」が集う大規模イベントの拡大

- 「とくしまマラソン」や「マチ★アソビ」の国際化を図るとともに、「LEDアートミュージアム（仮称）」を創設

【■「マチ★アソビ」年間参加者数：H25・11.3万人 → H31・17万人】



（ウ）地域産業の飛躍を支える人づくり

➢ 次代を支え未来を拓く産業人材の育成

- 「地域グローバル人材」を育成するため、経済団体等と連携し、大学生の留学を支援

【■県内大学生への留学支援人数（5か年の累計）：H25・(-) → H31・100人】

➢ 地域を支える産業人材の育成

- ドイツ・ニーダーザクセン州の職業訓練センターと交流し、ドイツの「マイスター制度」のエッセンスを取り入れた「徳島版マイスター制度」を創設

【■「徳島版マイスター制度」の創設：H25・(-) → H30・創設】

【基本目標3】 結婚・出産・子育ての環境づくり①

子育て

「切れ目のない次世代育成対策」を展開し、
若者の結婚や出産に対する希望の実現をはじめ、
「子育ての喜びを実感できる環境」を創造する！

目標

概ね10年後の2025年に、
結婚や出産に関する希望が叶う場合の
出生率（希望出生率）1.8を目指す。

●主な施策【重要業績評価指標（KPI）】

（ア）ライフステージに応じた切れ目ない支援の強化

➢ 若い世代の結婚の希望をかなえる

- 「きらめき縁結び応援団」と「徳島企業・団体婚活支援ネットワークセンター」の連携による出会いの機会づくりを支援
【婚活支援応援企業・団体登録数：H25・(-) → H31・230社】

➢ 出産・子育てを応援する

- 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の保育料を無料化
【第3子以降の保育所・幼稚園「保育料無料化制度」の創設：H27創設】



➢ 世代を超え地域で支える子育て社会の実現

- 待機児童を解消するため、市町村における保育の受け皿確保のための施設整備を支援
【待機児童の解消：H25・41人 → H29・0人】



【基本目標3】 結婚・出産・子育ての環境づくり②

（イ）若い世代の正規雇用のさらなる拡大

➢ 若い世代の正規雇用のさらなる拡大

- 全国トップクラスの正規雇用率の拡大に向け、「とくしまジョブステーション」や「ジョブカフェとくしま」等により、求人情報の提供などを支援
【とくしまジョブステーション等を活用した就職率：H25・35.1% → H31・40.0%】

➢ 成長段階に応じた職業観の醸成

- 成長段階に応じた職業観を醸成するため、小学校における職場見学や、中学校での職場体験、さらには高校段階におけるインターンシップを拡充
【高校生におけるインターンシップの実施率（全日制・定時制）：
H25・82.9% → H31・100%】

（ウ）仕事と子育てが両立する働き方の実現

➢ テレワーク導入による新たな働き方の「とくしまモデル」創出

- 働き方の多様化に対応するため、テレワークセンターを設置し、テレワークを普及
【県内でテレワークを実施する事業所数（トライアル実施を含む）
（5か年の累計）：H25・(-) → H31・100事業所】



➢ 子育てしやすい職場環境づくり

- ワーク・ライフ・バランスの促進に向け、仕事と子育ての両立支援に積極的な企業を「はぐくみ支援企業」として認証
【「はぐくみ支援企業」認証事業所数：H25・177事業所 → H31・270事業所】

【基本目標4】 活力ある暮らしやすい地域づくり①

まち

「ひと」と「しごと」の好循環を強固に支え、
安心して暮らし、学び、働き、子育てしやすい、
笑顔に満ちた活力ある「まち」づくりを展開する！

目標

徳島版地方創生特区 10区

●主な施策【重要業績評価指標（KPI）】

（ア）課題解決先進地域づくりの加速

➢ 市町村の課題解決支援

- 地域活性化に向けた、県独自の規制緩和や税制優遇、財政措置を組み合わせた「徳島版地方創生特区」を創設

【重要業績評価指標】「徳島版地方創生特区」の創設・推進：H27特区制度創設・プロジェクト推進】

（イ）多様な人材が輝く地域づくりの加速

➢ 女性の活躍を加速

- 「テクノスクール」と大学等の連携による「ウーマンビジネススクール」を創設し、管理職等を目指す女性を支援

【重要業績評価指標】「ウーマンビジネススクール」の創設：H25・(-) → H27・創設】

➢ 障がい者が支える社会へ

- 障がい者が活躍できる場の創出に向け、地域の高齢者に対し、日用品等の移動販売や見守り活動を行う地域貢献活動を推進

【重要業績評価指標】障がい者が繋ぐ地域の暮らし“ほっとかない事業”：H25・1地域 → H31・6地域】



【基本目標4】 活力ある暮らしやすい地域づくり②

（ウ）時代に合ったふるさとづくりの加速

➢ 新たな小中一貫教育（徳島モデル）

- 小規模化する学校をコストをかけずに存続させ、教育の質を保証する新たな形として「チェンスクール」や「パッケージスクール」を普及

【重要業績評価指標】新たな小中一貫教育などに関する取組み実施地域数：H25・2地域 → H31・9地域】

（エ）安心して暮らせる地域づくりの加速

➢ 地域防災力の向上

- 自助・共助の要となる地域防災リーダー養成のため、高校生からシルバー世代まで幅広く「防災士」の資格取得を支援

【重要業績評価指標】防災士新規取得者数：H25・人口10万人当たり全国10位 → H30・全国5位以内】

➢ エネルギーの地産地消と未来エネルギーの導入

- 自然エネルギーや次世代エコカーの蓄電・発電機能を利用して、災害時に防災拠点や避難所へ電力を供給する取組みを拡大

【重要業績評価指標】次世代エコカーやV2Hを活用した災害時電源確保：H25・1 → H30までに全24市町村で実施】



（オ）地域間連携の進化

➢ 関西広域連合等における広域課題の解決

- 本県のみで解決が困難な課題を関西広域連合等により施策を推進

【重要業績評価指標】関西広域連合で展開する徳島発の広域プロジェクト数（5か年の累計）：H25・1件 → H31・8件】

4 「地方創生“拳県一致”協議会」を核に「総合戦略」を推進！

地方創生“拳県一致”協議会

「産学官金労言」の各界代表者に加え、地域や住民の代表者から構成する「地方創生の実現」に向けた取組みの核となる推進母体

【役割】

- 「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定
- 「地方版総合戦略」の推進



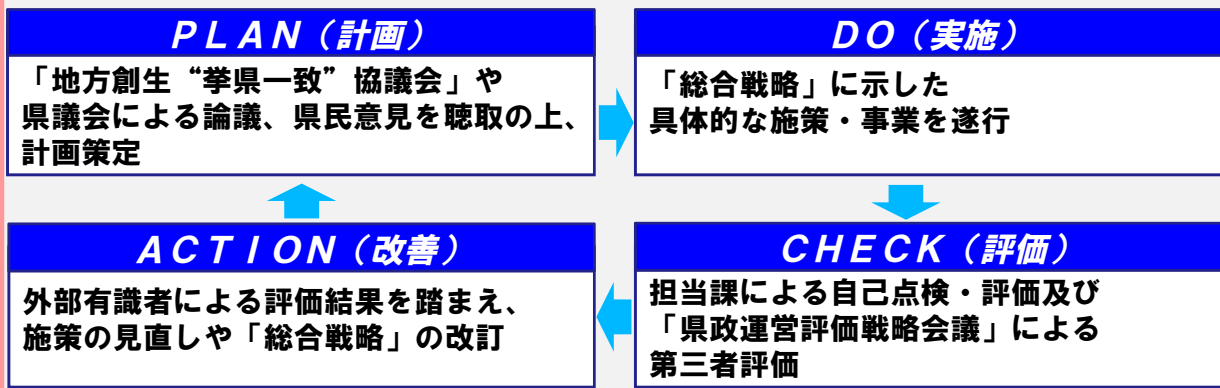
H27. 7. 16 「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」を策定！

協議会での
意見を踏まえ

「KPI」を各年ごとに整理した“アクションプラン”を策定予定！

「KPI」を基に、「PDCAサイクル」による検証と改善を実施

総合
戦略を
推進



5 「『住んでみんで徳島で！』県民会議」創設！

国

「地方居住」への気運醸成に向けた「国民運動」を展開するため、「『そうだ、地方で暮らそう！』国民会議」を創設

「地方創生元年」に当たり、全国に先駆け、国民会議の行動にいち早く呼応！

徳島の行動

H27. 7. 7

- ① 「『住んでみんで徳島で！』県民会議」を設置！
「新しい人の流れづくり」のため、「拳県一致」で「とくしま回帰」に向けた「県民運動」を推進
- ② 「行動宣言」を決定！！

「地方創生“拳県一致”協議会」メンバーが構成員

行動
宣言

- 1 住みたい・働きたい「とくしま回帰」を加速するため、「移住交流」や「徳島ゆかりの方の里帰り」を促進
- 2 地域における仕事づくりを推進するため、「地域産業の未来に向けた競争力」を強化
- 3 「子育ての喜びを実感できる環境づくり」とともに、「活力ある暮らしやすい地域づくり」を推進



H27. 8. 3
とくしま移住交流促進センター開所

「地方創生」、
ひいては「日本創生」の実現に向け、

新たな“価値観”
新たな“処方箋”



「課題解決先進県・徳島」の誇りを胸に、
“新たな価値観・処方箋”を
全国へ発信！！